

## 令和5年第15回柳川市教育委員会定例会議事録

### 1 開会及び閉会に関する事項

令和5年10月25日（水）

開会 午前 10時00分

閉会 午前 11時15分

### 2 出席委員の氏名

教育長職務代理者	江口 正基
委員	瀬戸口 京子
委員	田中 義隆
委員	田中 麻子（欠席）

### 3 事務局等の出席者

教育長	橋本 秀博
教育部長	武田 真治
首席指導官	野中 裕二
主任指導主事	笹淵 恵
学校教育課長	古賀 洋
学校再編推進室長	藤吉 康裕
生涯学習課長	野田 学
人権・同和教育推進室長	梅崎 福秋
図書館長	松永 浩一
学校教育課教務係長	山田 洋子
学校再編推進係長	江崎 佑美
記録者学校教育課長補佐	荒巻 良二

### 4 傍聴者

0人

### 5 教育長経過報告の要旨

令和5年9月20日（水）から令和5年10月25日（水）までの経過報告。

主な報告

- ・教育委員会定例会について
- ・表敬訪問 バレーボール青年（柳川クラブ）全国大会出場報告について
- ・ボートレーサー養成所修了式及び関係行事について
- ・柳川市教育委員会指定研究発表会（六合小学校）について

- ・福岡県民スポーツ大会総合開会式について
- ・中山小学校教育懇談会について
- ・市同研社会教育部会研修会・総会について
- ・矢ヶ部小学校訪問（南筑後教育事務所帯同）について
- ・定例記者会見について
- ・庁議について
- ・市職員辞令交付式（条件付き解除）について
- ・未来の地域リーダー育成プログラム推進委員会について
- ・柳川市小学校陸上記録会について
- ・柳川市立小中学校長会について
- ・ボートレーサー養成所入所式について
- ・業務成果報告会について
- ・柳川市自殺対策庁内連絡会議について
- ・柳川市中学校音楽発表会について
- ・園田兄弟杯少年柔道大会について
- ・校長面談について
- ・南筑後教育事務所管内教育長会議について
- ・南筑後教育事務所管内教科用図書調査研究委員会について
- ・市職員採用試験 2次試験について
- ・市政報告会について
- ・九州都市教育長協議会定期総会及び研究会について
- ・フェスタなかやまについて
- ・木村緑平句碑祭・緑平ジュニア賞表彰式について
- ・市町教育長と県教委幹部職員との意見交換会について
- ・定数要求合同会議について
- ・教育委員会定例会について

## 6 議事の概要

教育長	<p>本日の出席委員は3名でございます。定足数に達しておりますので令和5年第15回柳川市教育委員会定例会を開会いたします。</p> <p>日程第1「会議録署名委員の指名について」を議題といたします。会議録署名委員は、瀬戸口委員にお願いします。</p> <p>(了 承)</p>
教育長	<p>日程第2「会期の決定について」を議題といたします。</p> <p>会期は、本日1日限りといたします。</p>

教育長	<p>(了 承)</p> <p>日程第3「教育長の経過報告について」を議題といたします。 では、私から報告をいたします。</p> <p>(教育長報告)</p>
教育長	<p>このことについて、何かご質問、ご意見等ございませんか。</p> <p>(特になし)</p>
教育長	<p>続きまして、日程第4 議案第21号「令和6年度柳川市立小・中学校県費負担教職員の人事異動方針について」を議題といたします。 事務局より説明をお願いします。</p>
学校教育課 教務係長	<p>(説明)</p>
教育長	<p>このことについて、何かご質問、ご意見等ございませんか。</p> <p>(特になし)</p>
教育長	<p>では、ご質問、ご意見等ないようですので、採決をいたします。本案について、賛成の方は挙手をお願いいたします。</p> <p>(挙手全員)</p>
教育長	<p>賛成全員でございます。よって、本案については事務局提案のとおりと決定いたします。</p> <p>次に、日程第5 報告第9号「柳川市体育施設条例施行規則の一部を改正する規則の制定について」を議題といたします。 事務局より説明をお願いします。</p>
生涯学習課長	<p>(説明)</p>
教育長	<p>このことについて、何かご質問、ご意見等ございませんか。</p>

<p>教育長</p>	<p>(特になし)</p> <p>では、ご意見等もないようですので、本報告については事務局報告のとおり承認してよろしいでしょうか。</p> <p>賛成の方は挙手をお願いいたします。</p>
<p>教育長</p>	<p>(挙手全員)</p> <p>それでは、本報告については事務局報告のとおり承認いたします。</p> <p>次に、日程第6「その他報告事項」を議題といたします。事務局より報告をお願いします。</p> <p>(教育指導室)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度全国学力・学習状況調査、福岡県学力調査結果及び公表について</li> </ul>
<p>首席指導官</p>	<p>(説明)</p>
<p>教育長</p>	<p>何かご質問、ご意見等ございませんか。</p>
<p>江口職務代理者</p>	<p>この学力調査結果の資料を見せていただいて、報告にあったように小学校は全般的に非常に良い結果が出ています。小学校19校と中学校6校がありますので、点数だけで見れば、学校ごとの状況がそれぞれ異なるかと推測します。学校ごとの問題点とか、先生の教え方とか、そういうことに対して、今後の取り組み等の考えがあれば、お聞かせいただければと思います。</p>
<p>首席指導官</p>	<p>ひとつは日常的な学校訪問を、委員会全体で行くのは年に1回ということになっていますので、日常的に私と主任を含め、指導室の指導主事が担当する学校がありますので、その学校に出向いたときに学校が抱えるいろんな課題に対応し、学習指導のみならず特に授業づくりという視点でもしっかり指導していくということで、取り組んでおります。また人材育成という点からでは、教育研究所が主催しております、役付き経験の3年目の先生とか7年目の先生とか、そういう先生を対象にした、授業づくりの研修会等を設けております。</p> <p>また県の学力調査や全国学力学習状況調査において、結果が芳しく</p>

<p>教育長</p>	<p>なかった学校につきましては、学力アップ支援事業を活用し講師を付けるなどして、例えば授業の中で一つのクラスを二つに分けて、二人で指導ができる体制を作り、そういう人を充てて手厚い指導ができるような取り組みも行っているところです。</p> <p>柳川市の小学校は南筑後教育事務所管内でも1位2位争うくらいの高さではあるのですが、ずっと課題になっているのは、中学校になるとその高さを維持できない。では、学校訪問等でご覧いただきますと分かるように、果たしてこの授業でこんな高い点数を取れるのは、やはりドリル的な繰り返しの学習だけに留まっていないのか。資料を読み込んで、資料から何が分かるのかとか、この論説文から筆者は何を私たちに伝えようとしているのかとか、そういった要旨を読むとかです。ね、段落の要点をきめ細やかに読み解くとか、それに対する自分の考えを持つとか、今求められているのは実際そういった学力ですので、そういった授業を小学校の頃から行っているのかということに、ひとつ問題点があるのだらうと思います。</p> <p>中学校の場合は教科の担当教諭が決まっております。昔は同じ教科でも複数の先生方がいて、お互い切磋琢磨するような状況があり得たと思うのですが、現在は全く無いということではないのですが、やはり一人の先生が3クラスほどを教えていくということになっています。だからこそ、学校再編を通して、そのような指導体制によって生徒たちも他者との関りで、思考力や判断力、表現力を身に付けていかなければならないと思います。</p>
<p>田中義隆委員</p>	<p>先ほど教育長が言われたけど、小学校の勉強のやり方、自分で考える思考というか、あくまで決められたパターンで解く場合は強いけども、それを外れたら対応できない。だからこれだけ小学校と中学校の結果の差があるのかなと。何が原因なのかと思って、ある意味では小学校に関しては、先生たちの目が行き届いて、一人ひとりケアしてくれている。だから児童がボーっとしていても何となくその流れについていけばできている。だけど中学校になったら、自分で家庭学習にしろ塾にしろやっていかないと、基礎はともかく、応用はできていかないし難しいのかなと感じるので、授業云々というよりも、自分で考える、勉強する、勉強したいとか、そういうのを養うことを、小学校が手厚くしているから、逆にそれが低下している原因なのかなと感じますね。</p>

瀬戸口委員	<p>どこの中学校も校区の統一テーマで、「あいさつ」とかあるのに中学生は、小学生の間はあいさつとか返してくれるけど、中学生になると逆に、自我の芽生えというか、恥ずかしいとかで、あいさつをしなくなったりする。成長過程の上でのものなのかしらと。小学校の間は素直に先生の言うことをきちんと聞いて宿題もしないといけないというふうに思うけれども、成長過程の上での話しですと、田中委員がおっしゃったように、小学校の時に自分から学びたいという気持ちにもっとさせられれば、中学校のギャップみたいなものは少し減っていったらいいのかと思うけど、実際に教えるとなると難しいですね。</p>
田中義隆委員	<p>これだけ極端に小学校と中学校の差が大きいところは、多いのですか。</p>
首席指導官	<p>そういう傾向はあります。中学校では、柳川の共通実践項目として主体的に学習に取り組む態度育成ということで力を入れているのですが、やはり小学校段階からそういう主体的に学習に取り組む態度というところを中学校に継続して繋げていけるような、剥がれ落ちない力と言いますか、本当に生きて働くような知識技能、思考力、判断力、表現力を、小学校段階から一貫して中学校に繋げていくようなそういう取り組みが今後さらに必要になってくるのではないかと考えております。</p>
教育長	<p>ご指摘のとおり、やらされる学習が多いのが小学校、中学校は任せているようで下手すれば教授型でずっと喋ってしまうような先生もなかにはいます。思考をしっかり促す先生もいるとは思いますが、そのギャップがあまりにも激しい。それがひとつあると思います。</p> <p>もうひとつはですね、入試の体制自体が変わってきました。ご存知のように、自己推薦とか、自分の得意なことを面接と作文だけでとか、私立は特色科で取るし、そういった受験の在り方も背景としてあるのかもしれないです。</p> <p>やはり考えていかないといけないのは、小学校では、新聞の一面に「天声人語」とか「春秋」とかありますが、あれを書写させて、はじめは書写するだけでも相当時間がかかります。それに対して、自分の考えを書かせる。感想だけでもいいです。そういうことを繰り返していくことが大事だと思います。与えられたことにだけ、AかBかとか、三者択一とかいう問題ではなくて、これに対する自分の考えを、理由をつけて述べなさいというような、そんな授業展開をやっていかない</p>

	<p>といけないし、小学校の場合は1年生2年生のときは支援の領域が多いのですが、これが5年生6年生になると子どもの主たる活動が主になっていくような授業展開というものを目指していきましょうということをどこでも言っております。一日にしてはなりません、ここをいかに繋いでいくか、いかに落とさないか、それともう一つは、中学校で頑張っていたかかないといけないのは、うちの学校に来てくださいと、私立中学校、国立中学校ではなくて、うちの学校でぜひ楽しい学校生活をおくってほしいというアピールができる学校にしていけないといけません。学力の高い子たちが私立や国立に行ってしまうと、当然その分が落ちていくのは目に見えていますので、そうならないための自助努力を中学校にお願いしていこうと思っております。</p> <p>最後に、スタンダードはあるのですが、あいさつ、掃除、はきもの、もうそれはいいのかなと、逆に言うと、学びがスタンダードにいるのかなと。その辺りをもう少し、校長先生たちから率先して作り上げていく、柳川ならではの教育ができるようなスタンダードを学びの中で展開していく必要があるだろうと思っております。</p> <p>(学校再編推進室) ・第5回大和町地区小学校再編協議会について</p>
学校再編推進室長	(説明)
教育長	何かご質問、ご意見等ございませんか。
瀬戸口委員	学童保育について、学校は中島小学校のときにも、学童保育は六合小学校で開設するのですか。
学校再編推進室長	令和7年度の開校時から、学童保育所については六合小学校で開設予定です。
瀬戸口委員	移動はどのように。
学校再編推進室長	移動について、子育て支援課の説明では、スクールバスを通学時に回していますので学校教育課と協議をして、その調整ができれば、そのスクールバスを使うということと、そこで不足する分については、子育て支援課が何らかの方法で移動手段を確保し、中島小学校から六

田中義隆委員	<p>合小学校の移動については責任をもって送迎を行うということです。</p> <p>スクールバスの件ですが、まず一つは6台の確保ができていますのかということと、もう一つは到着時間、結構詰まっていますよね。その時に大丈夫なのか、ほとんど何分刻みのような感じになっているから、バスが停車できるスペースもあるのかなど不安になって、その二点です。質問です。</p>
学校再編推進室長	<p>想定でスクールバスを6台ということではしておりますが、協議会で対象者が決まっていないので、この台数については増える可能性がございます。バスの確保については、例えば市が購入して運転だけを委託にするのか、それとも会社にバスまで含めて確保してもらい委託をするのか、委託の方法も決まっていないので、バス6台が確保できているかというところはまだ確保できていない状況です。</p> <p>また、スクールバスの乗降場所については、今のままではご存じのとおり、そういったスペースがございませんので、6台が旋回できるようなスペースをどうにか確保して、スクールバスの乗降ができるように検討をしているところです。</p>
田中義隆委員	<p>もう一つは、スクールバスを委託するにしても、どうしても朝と夕方だけになると、受け手があるのかなど心配もしています。</p>
学校再編推進室長	<p>スクールバスの委託については、バス会社に話を聞いたのですが、早く内容を決めた方がいいということで、どちらの方法で委託をするにしても、バス会社としてはある程度の準備期間が必要であることを言われています。できるだけ早く時間まで含めたところのスクールバスの運行内容を決めたいのですが、実際のところ、なかなか難しい部分があって時間がかかっており、予定通り進んでいないというのが現状でございます。</p>
江口職務代理者	<p>協議会が設置されて、令和7年4月1日開校ということで決定していますが、今のところ問題なく進んでいるということでよろしいでしょうか。</p>
学校再編推進室長	<p>先ほども申し上げましたが、スクールバス以外の部分については、当初の計画通りに進んでいるところです。施設については、改修を来年度予定しており、1年という限りある期間ですが出来るだけのこと</p>

	<p>はやりたいと思っております。令和7年4月開校ということで進んでおります。</p> <p>(生涯学習課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秋の文化事業のご案内について</li> <li>・令和5年度市史歴史講座について</li> </ul>
生涯学習課長	(説明)
教育長	何かご質問、ご意見等ございませんか。
	(なし)
教育長	野田演吉さんの前期の写真展に行きましたが、貴重な写真がたくさんあって、あらためて柳川の歴史を見るには良い写真ではないのかなと思いますので、お時間がありましたらご覧いただければと思います。
	(図書館)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度上半期(4月～9月)における開館及び利用状況について</li> <li>・秋の図書館行事について</li> </ul>
図書館長	(説明)
教育長	何かご質問、ご意見等ございませんか。
	(特になし)
教育長	先日、市報にも図書館が特集になっておりました。近隣と比べましても柳川市は館長はじめ職員が一生懸命いろんなイベントとかで盛り上げようとしておりますので、ぜひ委員の皆様方にもご支援をよろしくお願いいたします。
教育長	それでは、本日の議事は終了いたしました。他に事務局からございませんか。
首席指導官	インフルエンザによる学級閉鎖等について、ご報告させていただきます。現在、小学校で4校、中学校で1校、学級閉鎖になっておりま

教育長	<p>す。その中で、中島小学校が全体的に広がりを見せておりまして明日26日から29日までを学校閉鎖にしております。以上、報告をさせていただきます。</p> <p>インフルエンザが猛威を振るっているようで、今日のニュースでは26万人を超えていると。例年にないスピードで増えているということです。学校もこういう状況ですので、学校には手洗いとかそういう感染対策の指導強化をするように伝えたいと思っております。</p>
教育長	<p>他に何かございませんか。</p> <p>私の方からですが、11月15日に白秋音楽まつりが水都やながわで開催されます。もしお時間が許しましたらご覧いただけるとありがたいです。午前の部と午後の部があります。各学校しっかり練習しているようですし、水都で歌う子供たちは、自分たちの歌声に聞き惚れて歌う姿がとても印象的なのでよろしく願いいたします。</p>
教育長	<p>委員の皆様から何かございませんか。</p> <p>(特になし)</p>
教育長	<p>それでは、他にないようですので、これをもちまして、令和5年第15回柳川市教育委員会定例会を閉会いたします。お疲れ様でした。ありがとうございました。</p>
次回予定	<p>次回教育委員会定例会 11月21日(火) 13時30分 開催決定</p>